

令和6年5月2日

報道関係者 各位

大阪府藤井寺市

市役所業務で生成AIの 全庁運用を開始！

藤井寺市では、「ChatGPT」を始めとする生成AIの活用に向けた検討の一環として、職員を対象に令和5年7月から令和6年3月まで（実験結果の公表後、さらに3月まで延長）実証実験を実施しました。

その結果より、生成AIを利用した約90%の職員から、業務効率化や創造性向上に貢献したとの評価が寄せられたことから、令和6年5月1日より全庁運用を開始しました。

また同時に、藤井寺市生成AI利用ガイドラインも策定しました。

※実証実験結果の公表についてはこちら

<https://www.city.fujidera.lg.jp/soshiki/seisakukikaku/jyouhou/17206.html>

1. 利用する生成AIについて

生成AI : 自治体 AI zevo

契約業者 : シフトプラス(株)

特徴 : 自治体専用回線であるLGWAN回線を利用するため、一定のセキュリティが担保されている。

入力した内容をAI学習に利用されないため、情報漏洩のリスクが少ない。

IP制限やアカウントごとの権限設定・検索ログなどが管理できる。

対象 : 市のネットワークを利用する全職員。

2. 利用できる業務の範囲例

- 文章の要約、翻訳作業。
- 挨拶文章、メール文章、本市ホームページに掲載する文章等の素案作成作業。
- 文章の校正又は改善、チェック作業。
- 公開されている情報や文章を表などに整理する作業。
- 着想を得る又はアイデアを発展させる作業。
- エクセル・マクロ等のプログラムを作成又は修正作業。
- 庁内事務手続の確認や質疑応答集の素案作成作業。

※この記事も自治体 AI zevo を利用して文書の要約・添削をしています。

2. 今後の取り組み

生成 AI をより有効に活用するためには、職員の情報リテラシーを向上させるための人材育成が重要です。令和 5 年度には、庁内職員を対象に 4 回の勉強会を開催しました。令和 6 年度においても、同様に職員を対象にした研修や勉強会を実施予定です。

さらに、生成 AI が持つ可能性や存在する課題についても引き続き研究し、これらの知見を市民サービスの更なる向上に活かしていきます。

3. SDGs の目標



藤井寺市

<https://www.city.fujiidera.lg.jp>



藤井寺市は、SDGs の目標達成に向けた取り組みを推進しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪府藤井寺市

政策企画部 政策推進室 DX 推進課 担当：水田

TEL：072-939-1032

E-MAIL：jouhou@city.fujiidera.lg.jp